

新発売する「金農 あんこバター餅クロワッサン」(左)と「金農 パンケーキ ミックスベリージャム&ホイップクリーム」



コンビニエンスストア・ローソンと共同で「金農パン」の開発に取り組む金足農業高校(秋田市)の生徒が21日、新商品をPRするため県庁を訪れ、佐竹敬久知事に魅力や開発の裏側などを報告した。

新商品は「金農 あんこバター餅クロワッサン」「金農 パンケーキ ミックスベリージャム

金農パン新作 あすから販売

バター餅やブルーベリー使用

&ホイップクリーム」の2種類。価格はそれぞれ188円、165円。クロワッサンはバター餅としあんが中に入っていて食べ応えがあるのが特徴。パンケーキは県産の米粉を生地、ブルーベリーをジャムに使用。ほんのり甘い生地とジャムの酸味の取り合わせを楽しむという。今年1月に2、3年生258人が新商品のアイデアを提出。翌月、絞り込んだものからサンプルを作り、生徒とローソンの社員が試食を重ねて2品に決めた。県庁を訪れたのは生徒4人と教員、ローソン社員の計10人。クロワッサンの原案を考えた武藤百花さん(3年)は「秋田

生徒、佐竹知事に魅力PR



佐竹知事に金農パンの魅力などを報告した生徒4人

らしきを出しなくてバター餅を入れた。幅広い世代から好まれる味に仕上げられたと思う」、パンケーキを提案した藤田朱星さん(2年)は「ちょうど良い食べ応えなの、勉強の合間など休憩の時間に食べてほしい」などと佐竹知事にアピールポイントを説明した。(羽生田一海)

2品はあす24日から県内のローソン179店で販売し、28日からは東北各県のローソン全店舗に並ぶ。

「金農パン」は2012年に始まり、今回の2品を含め38品を開発している。10月にも新商品を投入する予定。